

博物館だより

第11号



子どもの祭，天神祭



長野市榑田には子ども（14才以下の男子）だけで行われる天神祭の行事が伝わっています。古文書には江戸末期からの記録が残っています。

『昭和62年天神祭の日取り』

- 7月31日 神主への依頼
- 8月5日 おぼしめし集め
- 同上 虫干し(ちょうちん)
- 8月22日 竹取り(門どうろう)
- 同上 前夜祭(行列)
- 8月23日 本祭
- 同上 なおらい

長野市西部山地の海の貝

11月23日まで

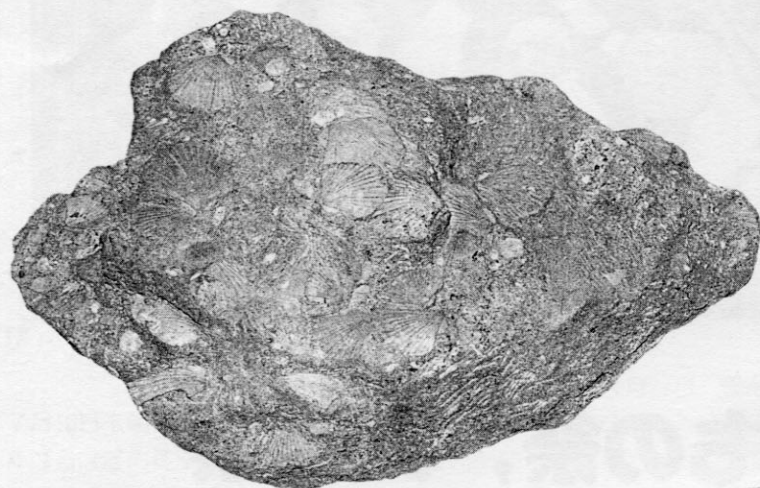
茶臼山自然史館では、4月29日より、企画展示「長野市西部山地の海の貝」を開催しています。

長野市の西部の山地には、たくさんの貝の化石を含んだ地層が広く分布しています。また、ここから出る化石の貝の多くは冷たくて浅い海に生息するもので、中には長野県の北部地域だけにみられ、日本の他の地域には全く知られていないもの

もあります。

今回の企画展示は、主に上水内郡戸隠村からみつかったアカガイやホタテガイの仲間の化石を中心に、これらの貝類がすんでいた当時のこのあたりの土地の様子などについて展示しています。

なお、期間中の日曜・祝日には、化石クリーニングや化石の鑑定も行っています。



◀化石のついた岩石

産地 戸隠村^{これ}下楡木
所蔵 戸隠地質化石館

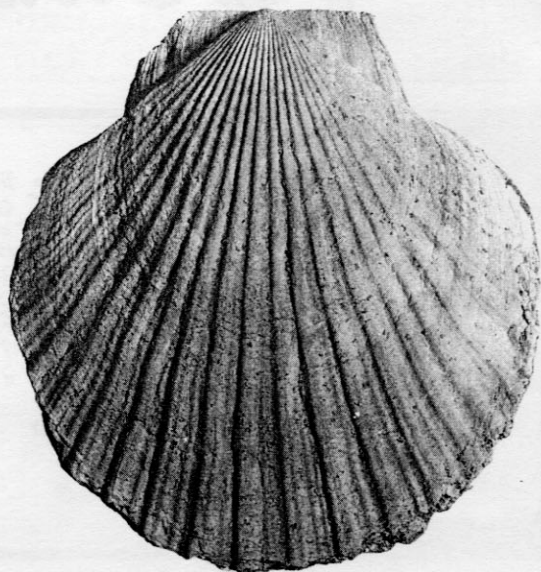
▼ヤマサキホタテ

左殻 (×0.8)

産地 戸隠村^{すだま}
(裾花川転石)
所蔵 上越教育大学
地学教室

上水内郡戸隠村^{しげのみ}栃原付近(旧柵村)の裾花川流域からはたくさんの貝の化石がみつかっています。中でもホタテガイの仲間の化石は種類、個体数ともに豊富で、長野県北部にしかみられないものも出ています。

岩石にたくさんはりついているのは、そのうちの一つのヤマサキホタテで、現在の東北地方以北の浅い海底にすんでいて食用にされているホタテガイ(別名アキタガイ)の祖先と考えられている今は絶滅した貝です。



時と太陽の物語

7月3日(日)～8月28日(日)

《太陽の時計 ——日時計—— 》

人類が最初に作り出した時計はどんなものかわかりでしょうか。それは日時計です。日時計を生み出すきっかけになったのは、恐らく1本の棒を垂直に立て、そこにできた影の長さや方向が絶えず変わっていくことに気づいたことからだと思われます。ですから、「時」は太陽の動きでわかり、太陽に支配されるといってもいいでしょう。

《現代の時刻もやはり太陽》

時計もさまざまな変遷をしましたが、現在最も正確な時計はセシウム原子時計です。セシウム原子が91億9263万1770回振動した時間が1秒と定義されていますから、この時計ですと3万年に1秒ぐらいしか狂わないことになります。しかし、現在も太陽に時計を合わせることに変わりはなく、1日で正確に太陽が同じ場所にもどってくるようにうるう秒というのを加えて調節しています。

企画展示では、時と太陽のかかわりを、日時計・和時計(江戸時代に日本で作られた独特な時計)・火時計などさまざまな時計を通じて理解していただくとともに、母なる太陽の姿も十分にご覧いただきたいと思います。

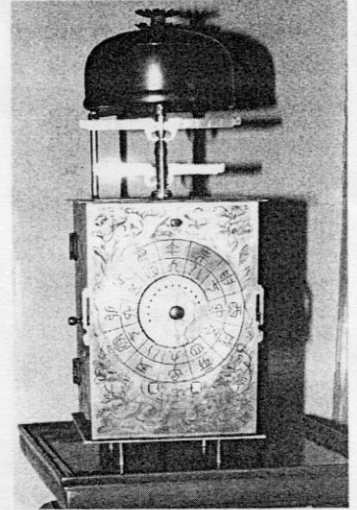
☆太陽の影に時の世界をのぞく☆

現代のわたしたちの社会では、時間の観念がますます細分化され、1秒刻みの生活になってきています。また、スポーツの世界では、1/100秒の単位で勝負が争われています。

遠い昔にエジプトで考案された日時計は、日本でも近世以降に使われたようです。しかし、時間の観念は今に比べて、随分大雑把でだいたい何時頃というくらいだったようです。1秒刻みのあくせくした現代に比べれば、ゆったりとした時の経過が感じられ、今とは違った時の世界を日時計に垣間見ることができます。

今夏の企画展示に因んで、こうした日時計を博物館の前庭に設置する予定で、計画を進めています。

企画展示と共に庭の日時計にも足を止め、過去から現代に流れる時の世界に思いをめぐらしてみてください。



和 時 計
関 喬氏所蔵(松本市)

期間中、日時計教室(8月6日)講演会(8月14日)、和時計の分解・修復実演(8月21日)太陽プロミネンス観察会などの催しを計画しています。



長野西高校に設置されている日時計

博物館行事のご案内

◆民俗講座

講演会 7月31日(日)
 講師 斎藤武雄氏(中野市文化財保護審議委員)
 見学会 8月28日(日)
 「芋井の民俗文化財をたずねて」(仮)

◆化石教室 8月2日(火)

信州新町で貝化石を採集します。

◆天体観望会 7月22日(金)

16cmの反射望遠鏡で、月と土星を観察します。(雨天・曇天の場合は翌日に順延)

◆考古学講座 8月7日(日)

「大室古墳群をめぐる」(仮)
 講師 大塚初重氏(明治大学教授)

◆開館記念講演会 9月23日

「温泉の話 ―ものの見方・考え方―」
 講師 掛川一夫館長

◆日曜映画会

上映日……7月3日、7月24日、8月14日
 9月4日
 上映時刻……各回午後2時15分より

◆プラネタリウム・コンサート 7月30日(土)

◆プラネタリウム 夏の番組

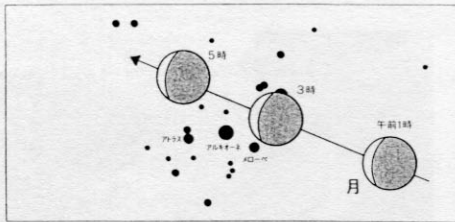
「真夏の夜の太陽くん」
 投影期間……9月18日まで
 投影日……土曜日・日曜日・祝日
 投影時刻……10:00・11:30・1:30・3:00
 ―― 夏休み特別投影 ――
 投影日……8月2日～5日、9日～12日、16日～19日
 投影時間……11:30・1:30・3:00

* 参加の申し込み、詳しい内容等は博物館までお問い合わせ下さい。

星・空・散・歩

●7月10日未明 すばるの食

すばるは冬の星座のおうし座にある美しい星団です。西洋ではプレアデス星団といっていますが、この星団が7月10日の明け方の空で、月に隠されていくというめずらしい現象が見られます。

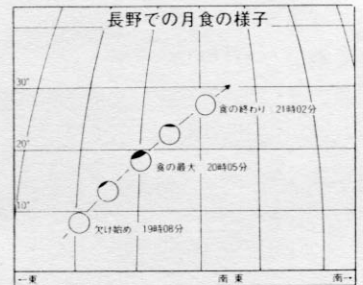


●8月13日ごろ ペルセウス座流星群が極大

毎年たくさんの流星が出現するペルセウス座流星群を、今年は月のない良い条件で見ることができます。8月13日前後の明け方を中心にペルセウス座から放射状に、多い時で1時間に50個くらい見られます。

●8月27日 部分月食

久しぶりに月食らしい月食が見られます。とは言っても月の3割ぐらしか欠けませぬのであまり見ばえはしません。しかし早い時刻なので見やすいものです。



博物館だより No.11 1988.6.7.
 編集・発行 長野市立博物館
 〒381-22 長野市小島町八幡原史跡公園内
 ☎ (0262)84-9011